

小学校低学年	テーマ	自然の中にある命		
	ねらい	自然の中にある命にふれることから自他の命の存在に気づく。		
	指導のポイント	事前	学習・体験	事後
	<p><b>【感動の体験】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生き物の不思議にふれ、生命への畏敬の気持ちを持たせる。</li> <li>生きているものと生きていないものとのふれさせ、その違いを体感させる。</li> <li>自然にふれる中で命に限りがあることを体感させる。</li> </ul> <p><b>【感性を育む】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペットの死など悲しみにふれる体験から、自他の命の大切さを実感させる。</li> <li>命に対する慈しみの気持ちを育てる。</li> <li>失われた命に対して悲しいと思う心情を大切にさせる。</li> </ul> <p><b>【想像力の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生き物の「生」と「死」の関連をとらえ、生命への慈しみの心を育てる。</li> <li>すべての命には限りがあり、人間も例外ではないことを感じさせる。</li> </ul>	<p><b>【先生の準備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中だけでなくすべての教育活動の中で、命を大切にしていこうとする視点や姿勢を持つ。</li> <li>教員自身の死に対する思いをまとめる。</li> <li>教員自身のペットとの思い出があればまとめておく。</li> <li>学校内外の自然を四季の中でよく把握しておく。</li> <li>現在悲嘆にある子どもが存在する可能性もあるので、個別に話を聞く時間を設定するなど、事前事後の個別指導を充実させる。</li> <li>子ども一人ひとりを把握し、学級内の人間関係を掌握しておく。</li> <li>家族との連携の上、学習や体験内容を適切に選択する。</li> </ul> <p><b>【教育課程上の位置づけ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語</li> <li>生活</li> <li>道徳</li> </ul> <p><b>【子どもたちの準備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今まで飼ったペットの思い出をまとめる。</li> <li>小動物とのふれあい体験を振り返る。</li> <li>ノーテレビデー等とおして、生活習慣を見直すことで、自然の息吹にふれる機会をもつ。</li> <li>自尊感情を高める体験をする。</li> </ul> <p><b>【家庭・地域との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ授業内容を伝え、家庭でも話題にするなど積極的に関心を持ってもらう。</li> </ul>	<p>身近な生き物とのふれあい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うさぎ等の小動物と遊ぶ。</li> <li>金魚、昆虫等の小動物を飼育する。</li> </ul> <p>生き物探し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生き物を探すことで身近な命を感じる。</li> <li>死んだセミ等を見せ、生きているものと死んでいるものの違いに気づく。</li> </ul> <p>自分の体験の振り返りと聞き取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペットの死、自分や家族の病気、身近な人の死などを振り返ったり、家族から体験を聞き取る。</li> <li>振り返ったり聞き取ったことをクラスで発表する。</li> </ul> <p>絵本の読み聞かせ</p> <p>動物の暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『どうぶつの赤ちゃん』（講談社）</li> <li>『スイミー』（好学社）</li> <li>『しっぽのはたらき』（福音館書店）</li> </ul> <p>動物やペットとの別れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『ずーっとずっとだいすきだよ』（評論社）</li> <li>『さようなら、ありがとう、ぼくの友だち ペットを失ったあなたへ』（岩崎書店）</li> <li>『スーホの白い馬』（福音館書店）</li> </ul> <p>ゲストティーチャーの話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>獣医や動物園関係者、自然観察指導員など生き物の命に接している人の話を聞く。</li> </ul>	<p><b>【子どもたちの予想される心の動き】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かわいいペットもいつかは死ぬんだね。</li> <li>大切に育てた生き物が死ぬとすごく悲しい。</li> <li>一緒に遊んだ思い出はいつまでもなくなるらないよ。</li> <li>おじいちゃん（おばあちゃん）とお別れはとっても悲しかったよ。</li> <li>「死ね」とか「殺すぞ」などと言っはいけないんだ。</li> </ul> <p><b>【振り返りカードへの記入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。</li> </ul> <p><b>【日常生活での実践・家庭との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な動物をかわいがる。</li> <li>教材及び子どもの感想などをまとめて家庭に配布するなど学習や体験の成果を知らせ、家庭で話題にするよう依頼する。</li> <li>日常の言葉遣い（「死ね」、「殺すぞ」等）を振り返る。</li> <li>日常の生活習慣を振り返る。</li> </ul> <p><b>【先生の振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>命の存在や生命の不思議さに気づかせることができたか。</li> <li>失われた命に対する悲しみにふれる体験から自他の命を大切にしようと思感させることができたか。</li> <li>子どもたち一人ひとりの心の動きを十分にとらえることができたか。</li> <li>死に対する過度の恐れを抱かせることはなかったか。</li> </ul>